

世界へはばたけ！

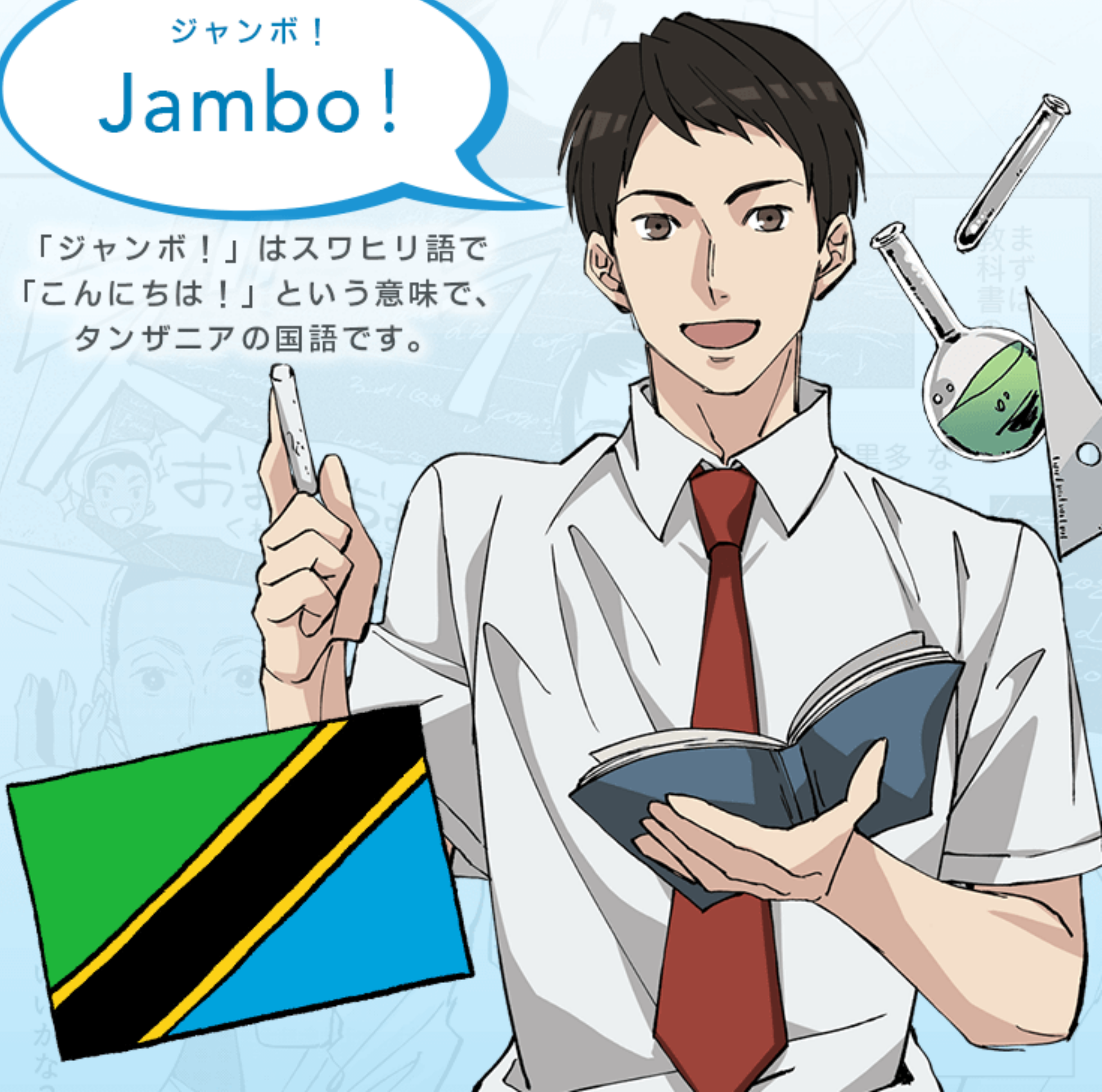
マンガで知る

青年海外協力隊

ジャンボ！

Jambo!

「ジャンボ！」はスワヒリ語で「こんにちは！」という意味で、タンザニアの国語です。



ボクは
かわおとようへい
川音洋平

アメリカの大学で
自然科学を学び
卒業後に帰国

日本に戻って
就職活動を
始めたけど…

専門分野を
生かせるような
就職先がなかな
見つからなかつた…



青年海外協力隊…？

理科教師が
足りないのか…

とりあえず
説明会だけでも
行ってみるかな

今日の説明会では
ボクの協力隊での
経験をお話しします



日本では
味わえないような
経験ができることは
もちろんですが

現地の料理は
おいしいですし

海沿いの
だったい
魚やエビ
を食べる
食べられ

新しい言語にも
挑戦できます

他にも...

なるほど...!!

ボクはそれまで
教員になろうと
思っていたのに
なかつたの

すぐに応募を
決意した

よし!!

応募用紙

※派遣前訓練では
先輩隊員の苦労や
配属先からの
大きな期待を知り

このまま行っても
いいのだろうか
不安になつたが
結局その不安を
拭いきれないまま
日本を出発することに

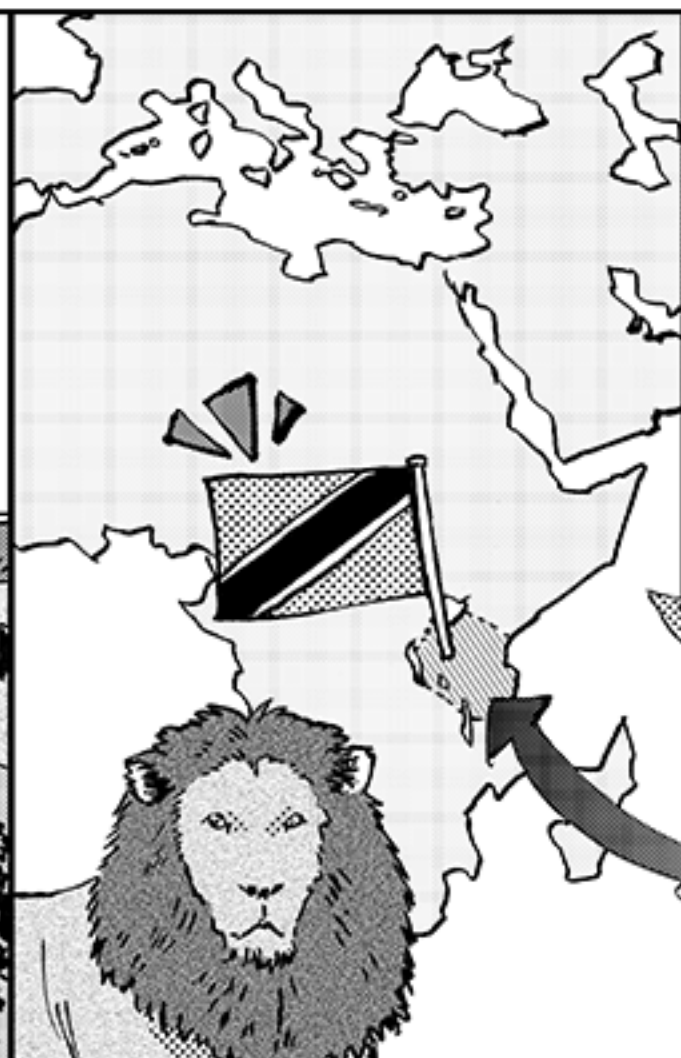
協力隊に
参加したい
理由は...

やった!
合格だ!

大丈夫だろうか...

※国際協力を行うために必要な知識を学ぶ訓練

派遣先は
アフリカ東部に位置する
タンザニア連合共和国



人口は約4,925万人で
日本の半分以下だけど
面積は日本の2.5倍もある



国語はスワヒリ語、
その他に英語や
部族語などが
話されている

ボクは男子高校で
理科教師として
活動



担当科目は
物理と数学だ

生徒数は2学年で
約1,200人もいる

高校に
進学している時点で

タンザニア国内では
優秀な生徒たちだ

授業は基本的に
英語で行っている



実験の結果から
わかるように

これはこういう
ことでは……

!

?

あれ……?
優秀な生徒たちの
はずなのに
理解にバラつきが……

?

うんうん
Uh-huh

?

これは……

授業の
内容以前
に言葉が
うまく
伝わって
ない……

お互いに
使えない
英語での
授業という
のは

こんなにも
難しいのか……

それに

教科書を持
っていない
生徒がほ
ぼいない

ポクが黒
板に書い
た内容が

そのまま
生徒たち
の教科書
になっ
てしま
うのか……



...

ここに来る前は
コミュニケーションが
問題だと
思っていたけど

それだけでは
ないぞ...

このままじゃ
いけない...

なんとかかしないと
ボクがここに来た意味が
ないじゃないか!!



まずは教科書の問題だ!

なるべく多くの情報を黒板に書くようにしよう

そして言語の問題は...

マイケル

おおおお!!
くわい書いてある!!

前に出てきてもらってもいいかな?



ボクのスワヒリ語レベルだと生徒に正しく伝わってるか確かめられないけど...

少しでも理解してもらおうためだ!!



今から先生が言うことをスワヒリ語でみんなに伝えてくれないかな?

やってみます!



パソコンを使いながら動画を流しながら解説したり

彼らがどれくらい理解できているのか確認するために毎週金曜日には小テストを実施したりした



それから少人数のグループに先生がスワヒリ語で教える時間を



よし!

みんなの感想がみたんだけど...!

そして、あつという間に帰国の日

説明会で聞いた
先輩隊員の話：
本当にそのとおり
だったな

すべては
目の前の生徒たちのため

試行錯誤を繰り返した充実の日々だった



この問題わかる人は
手を挙げて

はい!



ボクは今、
協力隊で、
活動した人のための
特別枠で採用され
都立高校の教員として
働いている

正解だ!

日本でも同じような
充実感を味わいたいと
思うようになったら
帰国後、
教員を目指すことを
決意した



タンザニアでの経験から
日本の生徒たちが
一番伝えたいのが

日本の環境が
いかに恵まれているか
ということだ

一人ひとりに
机があるし

教材も
充実している

日本にいなながら
それを実感するのは
難しいかもしれない

それでも
ボクの経験を
生徒に伝えることで
いろんな世界が
あることを
知ってもらえたらと
思っている

先生が
タンザニアで
授業している様子を
まなま

タンザニアで
教師を経験したからこそ
今のボクがある！

きっかけはなんでもいい！

人生を変える2年間が
君を待っている！



JICA海外協力隊ウェブサイトで他のストーリーも読めます！

<https://www.jica.go.jp/volunteer/manga/>

検索



※本誌に掲載されている内容はJICA海外協力隊ウェブサイト「JICA海外協力隊の人とシゴト」のインタビュー記事を元に作成しており、マンガ内の表現等は、JICAの公式見解を示すものではありません。